



新春を迎えて

川越市長 川合善明

明けましておめでとうございます。
市民の皆様には、輝かしい新春を健やかに
迎えることとお喜び申し上げます。

昨年を振り返って

日ごろから市政に対して、ご理解とご協力を
いただき、厚くお礼申し上げます。昨年実施し
た主な事業として、五つの民間保育所が行う施

設の新築・増改築に対する補助を行いました。
これにより、4月から保育所の定員が三百三十
人増加します。通院医療費の支給を小学3年生
まで拡大し、子宮頸がん予防ワクチン接種費用
の一部助成を行いました。また、厳しい経営状
況にある小規模企業者の事業経営に必要な融資
制度の新設などに取り組みました。

昨年10月の川越まつりは、前年を五万人上回

る八十万六千人
の人でにぎわ
い、11月に開催
した「小江戸川

越マラソン
二〇一〇」には

市内外からおよ
そ九千人の皆様
に参加いただき

ました。県が発
表した「商店街
通行量調査」で

は、「川越サン

ロード商店街振興組合」「川越新富町商店街振興組合」が一位と二位になるなど、多くの皆様
が川越を訪れてくださいます。また、約百二十年の歴史を持つ酒蔵を改装した産業観光館「小江戸蔵里」が昨年10月にオープンし、好評をいただいています。これまで保存修理工事を行っていた川越城本丸御殿が、3月にはいよいよ新たな姿を見せる予定です。

本年も市民生活を第一に考えつつ、川越ならではの魅力を発信するなど、各種事業に全力で取り組みたいと考えております。

三つの基本姿勢

私は、市長就任以来、一貫して「改革」「公正」「公開」の三つの基本姿勢により、市政に取り組んでおります。

「改革」については、昨年実施した管理職手当の減額や特殊勤務手当の廃止・見直し、人事院勧告に準じた職員給与の改定により、平成22年度およそ二億八千万円の経費を削減しました。厳しい財政状況の下、限られた財源を選択



産業観光館(小江戸蔵里)



公開事業点検の様子

と集中により重点的かつ効率的に配分していきま
す。今後も新たな行政課題に対応しつつ、健全
で持続可能な市政運営を行うため、引き続き行
財政改革を推進し、市政運営に取り組みます。
「公正」については、公正で公平な市政を現
現するため、市民の皆様の立場や視点からの意
見を伺うよう努めてきました。特に、タウンミ
ーティングでは、農業や商工業などのさまざま
な職種や、高校生・大学生の皆様から意見を伺
うなど、これまでとは異なる角度で、より多く
の皆様の声に耳を傾けるよう取り組んできました
。今後もタウンミーティングや市民意見箱な
どを通じて、多くの方々の声を市政に反映し、
公正な行政運営に努めます。

「公開」については、公募による市民の方や
外部有識者に市の事業について公開の場で議論
いただく「公開事業点検」
を実施し、この結果を踏
まえ、事業内容の見直し
に着手しました。引き続
き、さまざまな市の情報
を、できるだけ分かりや
すく、かつ、的確に発信
し、説明責任を果たすと
ともに、市民の皆様との
情報の共有に努めます。
本年も、この三つの基
本姿勢を崩すことなく、
市政運営を行ってまいり
ます。

第三次川越市総合計画後期基本計画

平成23年度から「第三次川越市総合計画後期
基本計画」がスタートします。昨年11月に総合
計画審議会から答申を受け、現在策定作業を行
っています。後期基本計画に基づき、総合計画
の基本構想で「目指すべき将来都市像」として
定めた「ひと、まち、未来、みんなでつくる
いきいき川越」の実現に向け、平成23年度は次
の三点について重点的に取り組みます。

第一に「未来につながるひとづくり」のため、
引き続き保育所の待機児童対策、子育て支援の
充実、健康づくりの推進、生きる力を育むため
の学校教育の充実、生涯学習の推進などの施策
を実施していきます。



川越駅西口駅前広場

第二に「活力と魅力あ
ふれるまちづくり」のた
め、新河岸駅周辺や川越
駅西口の駅前広場、骨格
となる道路の整備などの
都市機能の充実に積極的
に取り組めます。また、
交通円滑化、産業の活性
化、観光施策の推進など、

県南西部地域の拠点都市としての機能の向上と
活気ある産業の振興を図っていきます。

第三に「快適で安心できるくらしづくり」の
ため、コミュニティ活動の推進、環境負荷の
低減に取り組むとともに、日常生活における安
全安心の確保、学校などの公共施設の耐震化に
ついて引き続き進めていきます。(仮称)大東市

民センターやなぐわし公園温水利用型健康運動
施設の整備に着手します。新斎場については、
建設予定地の決定を
含め、積極的に取り
組んでいきます。



次代を担う子供たち
(地域子育て支援センター)

このほか、急激に
変化する社会経済状
況に適切に対応しつ
つ、有効な施策を着
実に進めてまいりま
す。

「住むことに誇りを持ち、住んでよかつ たと思えるまち川越」を目指して

特色を生かした地域社会づくりが求められる
中で、国と地方の役割は大きく変わりつつあり
ます。こうした中、自主性と自律性の高い市政
運営に努め、中核市川越がさらに発展するよう、
引き続き努力していきます。

平成24年は、大正11年に県内初の市制を施行
してから、九十年目に当たります。記念事業な
どの企画・準備を、今年から進めていきます。

本年も市民の皆様「住むことに誇りを持ち、
住んでよかつたと思えるまち川越」を実感して
いただけるように、まちづくりに全力で取り組
んでいきます。皆様の一層のご理解、ご協力を
賜りますようお願い申し上げます。

結びに、市民の皆様のご健勝とご多幸を心か
らご祈念申し上げます。新年のごあいさつと
いたします。